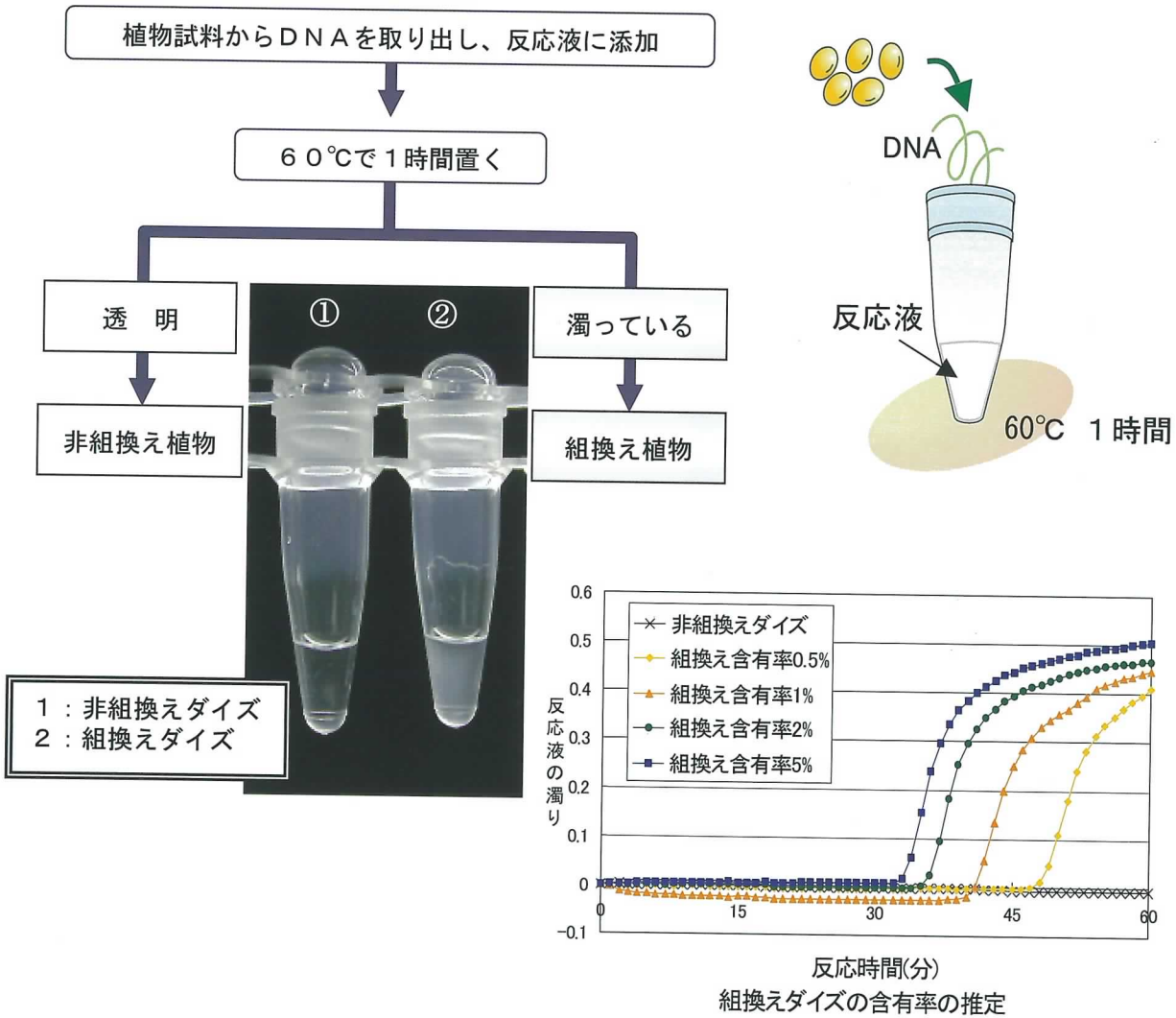


## 迅速・簡易な遺伝子組換え植物の検出



遺伝子組換え植物を簡単に見分ける技術を開発しました。遺伝子を増やすLAMP（ランプ）法を利用したこの技術を使うと、①植物から取り出したDNAを反応液に入れ、②60°Cで1時間置き、③反応液が白く濁っているかどうかを見るだけで遺伝子組換え植物かどうかわかります。

また、反応液の濁りを自動的に測る機器を用いると、試料の中にどの程度の組換え植物が含まれているかを推定することもできるようになりました。

この技術はトレーサビリティなど幅広い分野で活用できます。

（環境基盤研究部）